

## 主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

### メッセージ 9

初めの愛をもって主を愛することによって、命の霊の法則の中で生きる

聖書：ローマ5:5. 8:2, 28-29, 31-39. ヨハネ14:21, 23. 21:15-17.

エペソ6:24. 啓2:4-5, 7

I. クリスマン生活は、キリストご自身が命の霊の法則としてわたしたちの中で活動することによって、わたしたちを通して生きる生活です——詩歌304番. ローマ8:2:

A. キリストだけがまことのクリスマンであることができますが、彼は彼自身においてはキリストであることしかできず、クリスマンであることはできません。わたしたちは彼がなければクリスマンであることはできませんし、彼もわたしたちがなければクリスマンであることはできません。

B. わたしたちの霊の中にある命の霊の法則として、彼はわたしたちの思い、感情、意志のような内側の各部分へと拡大して、いくつかの法則となります。こうして、彼はわたしたちとミングリングされて、わたしたちの命の供給となります。わたしたちが彼を享受している時はいつも、わたしたちはまことのクリスマンであり、キリスト・人です——エレミヤ31:33. ヘブル8:10:

1. 命の霊の法則がわたしたちの内側で働き、拡大することによって、神はわたしたちを命、性質、表現において彼と同じにし、そしてわたしたちは神の長子のかたちと同形化されます——ローマ8:2, 28-29。

2. 長子は神の多くの子たちの大量生産のための原型、標準モデルであって、彼らは彼の多くの兄弟たちであり、彼のからだを構成して、神の団体の表現となります——29節. エペソ4:20-21。

3. この原型を大量に生み出す神の方法は、彼の生ける原型である長子をわたしたちの全存在の中へと造り込むことです。もしわたしたちがこのすばらしい原型と協力し、彼に開くなら、彼はわたしたちの霊から、心のあらゆる部分へと拡大します——3:16-21。

C. わたしたちがキリスト、すなわち絶対的に神の満足のためである方を、わたしたちの全焼のささげ物とするとき、命の霊の法則はわたしたちの内側で作動し、働いて、わたしたちに一種の生活をさせます。それはキリストが地上で生きた生活の繰り返しである生活、すなわち、全焼のささげ物の生活です——レビ1:3-4. ローマ8:2. エペソ4:20-21. ピリピ1:19-21前半. ガラテヤ2:20. 使徒28:9, ノート1:

1. キリストをわたしたちの全焼のささげ物とするとき、わたしたちは彼と結合されて、彼とわたしたちは一になります。わたしたちの弱さ、欠点、誤りはすべて彼によって引き受けられ、また彼のすべての美德はわたしたちのものとなります。このためには、適切な祈りを通して、わたしたちの霊を活用することが求められますが、それは命の霊の法則がわたしたちの内側で作動して、わたしたちを経験

的に彼と一にならせるためです——コロサイ4:2. エペソ6:17-18. 列王上8:48, ノート1。

2. 旧約のささげ物の実際はキリストであるので、ささげ物の法則は命の霊の法則に対応します。これが示しているのは、キリストの享受においてでさえ、わたしたちは勝手気ままであるべきではなく、命の霊の法則によって調整されるべきであるということです——レビ6:9. ローマ8:2. 参照、Iコリント9:26-27. ガラテヤ6:15-16. ピリピ3:13-16。

D. 「あなたは霊と成って、わたしの霊の中に住み、あなたを供給し、わたしと一となり、時々刻々わたし自身であり、時々刻々あなたでもあります」——全訳詩歌369番, 7節。

II. 命の霊の法則の中で生きるために、わたしたちは初めの愛をもって主を愛する必要があります。初めの愛、最上の愛をもって主を愛することは、すべての事で主を首位、第一位とし、彼の愛に押し迫られ、彼をわたしたちの生活の中のあらゆるものと見なし、あらゆるものとして受けることです——啓2:4-5. コロサイ1:18後半. IIコリント5:14-15. マルコ12:30. 詩73:25-26. 80:17-19 :

A. 命の霊の内住の法則である手順を経て究極的に完成された三一の神は愛そのものです。彼がわたしたちの中で活動すればするほど、ますますわたしたちは神の心である愛の中へともたらされ、ますます彼はわたしたちを魅了し、わたしたちに彼を愛するようにさせます——Iヨハネ4:8, 16, 19. エペソ3:16-21. ローマ5:5. 8:2, 28-29, 31-39。

B. わたしたちは信仰を通して主を受け（ヨハネ1:12-13）、そして愛を通して、受けた主を享受します（14:21, 23. 21:15-17. ガラテヤ5:6. 6:15）。

C. あらゆる人の中での主に対する愛の始まりは、彼のパーソンのビジョンです。主に対する初めの愛を離れることは、代々にわたる召会の失敗の原因であり、おもな理由です。わたしたちを主との正しい関係の中に保つことができるのは、愛以外にありません——IIコリント11:2-3. IIテモテ1:15. エペソ1:4. 3:17. 4:2, 15-16. 5:2. 6:24. 啓2:4-5, 7。

D. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、悔い改めて、初めのわざを行なうことです。初めのわざとは、初めの愛から出て来る行為です。もしわたしたちが主に対する初めの愛を離れて、悔い改めず、初めのわざを行わないなら、わたしたちは主の証しを失ってしまい、燭台はわたしたちから除き去られます——4-5, 7節. Iテサロニケ1:3. IIコリント4:5. 参照、Iコリント15:58. 16:10. IIコリント1:24。

E. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、主との個人的で、愛情に満ちた、ひそかで、霊的な関係を持つことです——雅1:1-4。

F. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、日々朝ごとの復興の生活をして、夜明けの胎から出る露のようなキリストの若者となることによって、彼を満足させ（詩110:3）、教えを受けた者の舌を持って、疲れた者を言葉をもって、いかに支えるかを知り（イザヤ50:4-5）、神と交わり、神の福音の奉仕のために、彼のみこころと喜びを尋ね求めることです（マルコ1:35）。

- G. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、日ごとに献身の生活をして、今日のナジル人となり、完全に神へと分離され神で浸透されて、神を彼の神聖な三一の中で神の子たちの中へと分与することによって、彼らを祝福することです——詩110:3. 民6:1-9, 22-27。
- H. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、祈りの生活をする事です——サムエル上12:23. マタイ6:6. 14:22-23. ダニエル6:10. 2:17-18. I テモテ2:1. II テモテ1:3. I テサロニケ5:17。
- I. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、神の言葉を愛し、尊び、思い巡らすことです——詩119:11, 14-15, 23, 48, 72, 78, 97, 99, 111, 113, 119, 127, 140, 147-148, 159, 162-163, 165, 167。
- J. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、主の直接の、顔と顔を合わせた臨在によって統治されることです——出33:11, 14. 13:21-22. II コリント2:10. 出25:30, ノート1と2。
- K. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、召会を愛するキリストの中で、召会を愛することです——エペソ5:25. II コリント12:15. I コリント16:24。
- L. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、召会を建造する務めを愛することです——II コリント8:5. I ヨハネ1:3. エペソ4:11-12。
- M. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、その霊によって生き歩き、その霊によって仕え、その霊を供給することです——ガラテヤ5:25. ピリピ3:3. II コリント3:6. ゼカリヤ4:6. 士9:9. 参照、サムエル上2:30後半。
- N. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、彼を生ける水の源泉とすることです。神のエコノミーにおける目的は、生ける水の源泉、源となって、ご自身を彼の選ばれた民の中へと分与して彼らの満足また享受となり、召会、神の配偶者を生み出し、それが神の拡張、神の拡大となり、神の豊満となって彼を表現することです——エレミヤ2:13. ヨハネ4:14後半。
- O. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、命の木としての彼を食べることです。命の木としてのキリストを食べること、すなわち、わたしたちの命の供給としてのキリストを享受することは、召会生活における主要な事柄であるべきです——啓2:7。
- P. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、絶えず彼に来て彼に触れ、彼を取り、彼を受け、彼を味わい、彼を享受することです——イザヤ57:20, ノート1。
- Q. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、彼をわたしたちの中心性（わたしたちをつなぐ中心）、またわたしたちの普遍性（わたしたちのすべて）とすることです。わたしたちは彼を、わたしたちの個人的な宇宙の中心、内容、円周とする必要があります——コロサイ1:17後半, 18後半。
- R. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちの信仰の霊を活用して、神がおり、わたしたちがいないことを信じることによ

- って、彼に喜ばれようと懸命に努めることです——Ⅱコリント4:13. 5:9. ヘブル11:5-6. 創5:22-24。
- S. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、畏るべき水晶のような澄み渡った空と、その上に神のサファイアの御座を持つことです。これは、わたしたちと主との間に妨げるものが何もなく、わたしたちが彼の支配する臨在の天的な雰囲気、状態、状況に満たされ、彼にわたしたちの内側で王として支配し統治していただくこと、それゆえに、わたしたちの生活におけるあらゆるものの支配者また決断者として彼に御座に着いていただくことを意味します——エゼキエル1:22, 26. イザヤ6:1-8. 参照、ヨハネ12:41-43。
- T. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、かしらとしての彼に結び付き、親密に彼に結び付けられ、彼の中へと成長し込み、彼から出て機能することであり、それによってからだ全体はからだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至ることが出来ます——コロサイ2:19. エペソ1:22-23. 4:15-16。
- U. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちのクリスチャン生活と働きのあらゆる詳細において、エホバの助言を求めることです。これは、打たれた岩としてのキリストに語りかけ、わたしたちにその霊を与えてくださるよう信仰の中で彼に求めることです。それによって、わたしたちは満ちあふれる供給としての生ける霊を受けることが出来ます——ヨシュア9:14. ペリピ1:19-21前半. ルカ11:13。
- V. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちであること、またわたしたちが行なうことすべてにおいて、命の流れ、すなわちわたしたちの内側の主イエスの流れを首位とすることです。その時、彼はわたしたちの内側で輝く方、贖う方、支配する方、流れる方、供給する方です——エゼキエル47:1. 啓22:1-2。
- W. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちのミングリングされた霊によって管理され、支配され、指示され、導かれ、動かされて、彼のとりこになることによって、また「主よ、わたしをあなたのとりこにしてください。決してわたしに勝たせないでください。絶えずわたしを打ち破ってください」と祈ることによって、わたしたちの霊の中の安息を顧みることです——Ⅱコリント2:13-14。
- X. 初めの愛をもって主を愛すること、すべての事で彼を第一位とすることは、わたしたちの賛美をもって彼を御座に着かせることです。賛美は神の子たちによってなされる最高の働きです——詩22:3. 119:164. 34:1。